

平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 における加美南中学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成28年4月から7月末までの期間に、2年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第2学年、中等教育学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年の原則として全生徒
- ・加美南中学校では、2年生 138名

3 調査内容

- ・生徒に対する調査
 - ア 実技に関する調査（以下、「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）中学校調査では、以下の種目を実施する。
 - [8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ（※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択）
 - イ 質問紙調査
運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「生徒質問紙調査」という。）を実施する。

平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立加美南中学校

生徒数

138

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	27.89	25.66	42.39	51.36		72.90	8.08	200.38	20.01	41.48
大阪市	29.29	27.51	40.96	51.76	411.55	83.43	8.09	191.49	20.42	41.25
全国	28.91	27.46	43.06	51.93	391.72	86.24	8.03	194.69	20.59	42.13
女子	22.54	21.47	43.30	41.92		51.06	9.40	161.14	10.42	43.06
大阪市	24.15	23.41	44.39	46.77	303.34	57.97	8.92	167.47	12.97	49.20
全国	23.75	23.48	45.46	46.60	288.51	58.80	8.83	168.28	12.85	49.56

結果の概要

本校では、持久走と20mシャトルランの内、20mシャトルランを選択し実施した。

男子では、立ち幅とびにおいて全国平均及び大阪市平均を上回り、長座体前屈、50m走、体力合計点において全国平均あるいは大阪市平均を上回ったが、他の種目においては全国平均及び大阪市平均を下回った。総合評価(高い方からA～Eの順に5段階で評定した評価)は、Aが8.3%、Bが18.3%、Cが43.3%、Dが25.0%、Eが5.0%で、全国平均や大阪市平均に比べCが多く分布している。女子では、全種目及び体力合計点において全国平均及び大阪市平均を下回った。総合評価は、Aが9.5%、Bが27.0%、Cが34.9%、Dが22.2%、Eが6.3%で、全国平均や大阪市平均に比べ、Aが少なく、Cが多く分布している。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

平成28年度「運営に関する計画」において、視点として「健康・体力の保持・増進」を、取組内容として「体力を保持・増進するための教育の充実」をそれぞれ設定し、体力づくりを重視し、自ら進んで適切に運動する習慣を形成させ、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育むよう努めてきた。しかし、本校のここ数年の結果と比較しても低い結果となっており、取組の進捗については十分に達成できたとは言えない結果である。

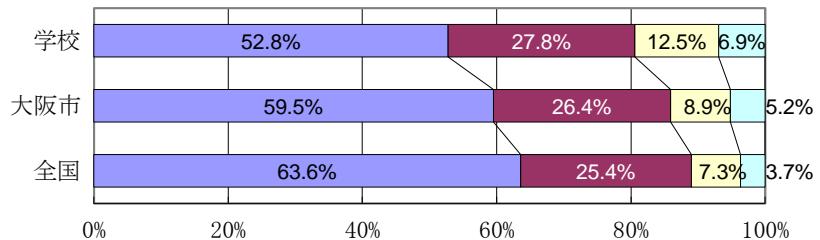
運動部の活動は活発であり、優秀な成績を残しているので、運動部への入部率を高めていくとともに、日頃から運動する習慣を身につけた生徒をさらに増やしていきたい。

運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
------	------

1

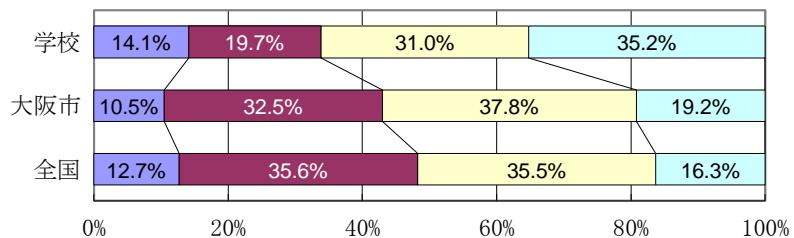
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



□好き
■やや好き
□ややきらい
□きらい

2

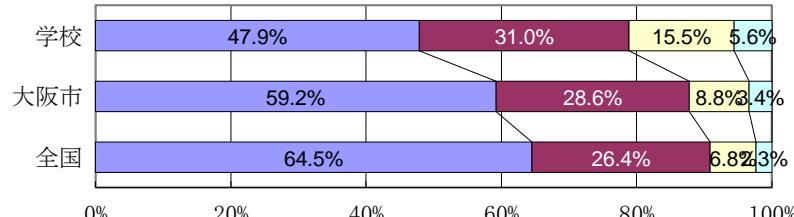
自分の体力に自信がありますか



□自信がある
■やや自信がある
□やや自信がない
□自信がない

3

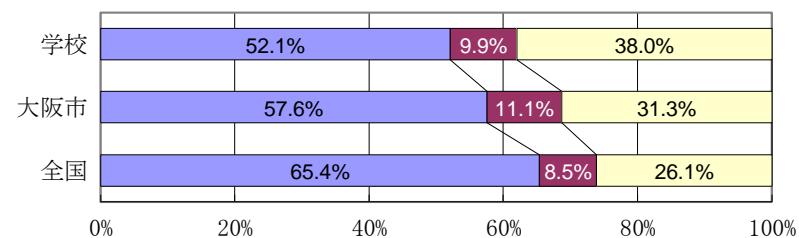
あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか



□大切
■やや大切
□あまり大切ではない
□大切ではない

4

中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか



□思う
■思わない
□分からない
□その他

成果と課題

運動やスポーツが好き・やや好きと答えた生徒の割合が80.6%と、全国平均や大阪市平均を若干下回っている。中学校卒業後も運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う生徒の割合は52.1%で、全国平均や大阪市平均を下回っている。運動やスポーツに慣れ親しむ生徒をさらに増やしていくことが必要である。

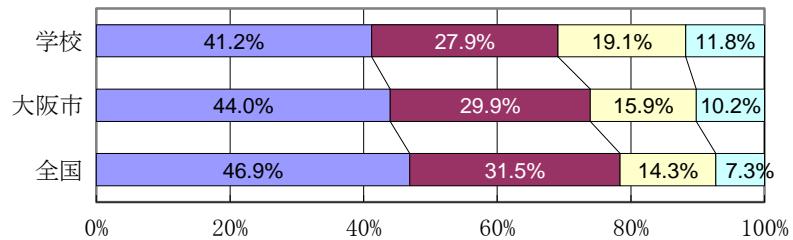
今後の取組

運動やスポーツがややきらい・きらいと答えた生徒の割合が18.4%と全国平均や大阪市平均を上回っており、できるだけ中学校の保健体育授業で苦手意識を払拭できるよう指導していく。

運動やスポーツについて（女子）

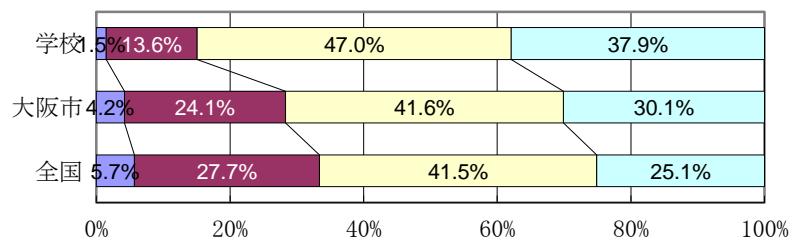
質問番号	質問事項
------	------

1 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすること好きですか



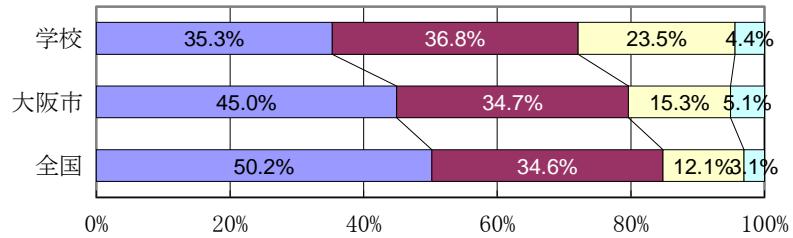
- 好き
- やや好き
- ややきらい
- きらい

2 自分の体力に自信がありますか



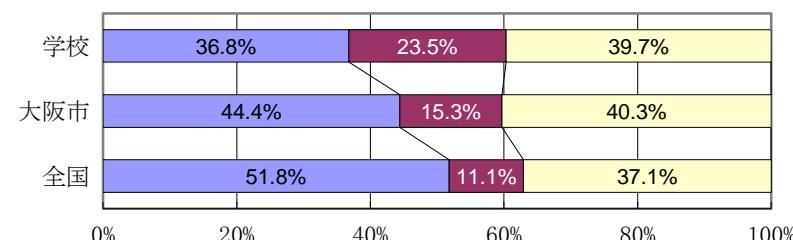
- 自信がある
- やや自信がある
- あまり自信がない
- 自信がない

3 あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか



- 大切
- やや大切
- あまり大切ではない
- 大切ではない

4 中学校を卒業した後、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



- 思う
- 思わない
- 分からない
-

成果と課題

運動やスポーツが好き・やや好きと答えた生徒の割合が69.1%で、全国平均や大阪市平均を若干下回っている。中学校卒業後も運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う生徒の割合は60.3%で、大阪市平均を若干上回っているが、全国平均を下回っている。運動やスポーツに慣れ親しむ生徒を増やしていくことが必要である。

今後の取組

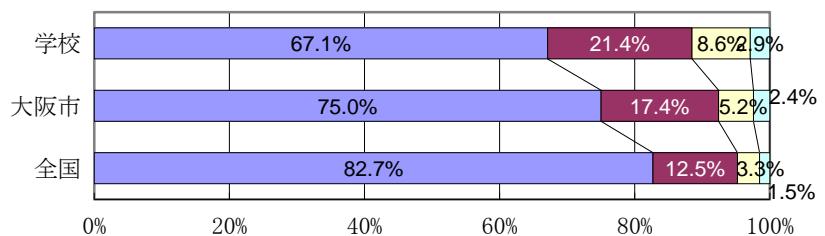
運動やスポーツがややきらい・きらいと答えた生徒の割合が30.9%と全国平均や大阪市平均を上回っており、できるだけ中学校の保健体育の授業で苦手意識を払拭できるよう指導していく。

ふだんの生活について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

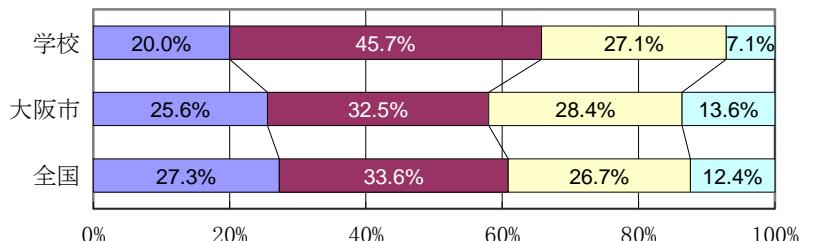
6

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含める)



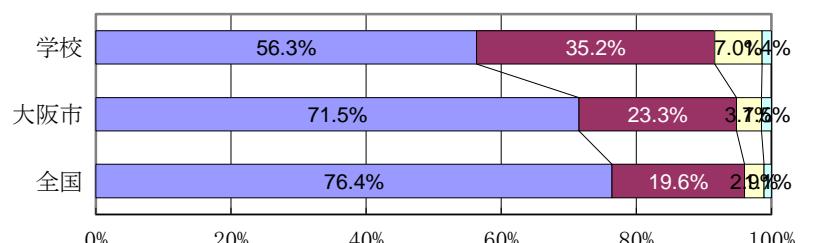
12

家人の人から運動やスポーツを積極的に行なうことを勧められることがありますか



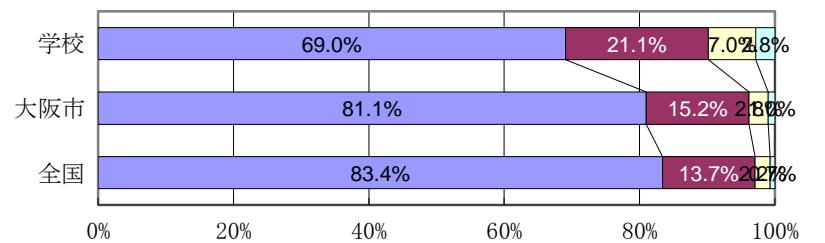
13

あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



15

あなたが健康でいるためによくねることはどのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

朝食を毎日食べると答えた生徒の割合が67.1%で、全国平均や大阪市平均を下回っている。健康でいるために運動や睡眠が大切だと答えた生徒の割合がそれぞれ56.3%、69.0%で、全国平均や大阪市平均を下回っている。基本的生活習慣の大切さへの意識が低いことがわかる。

今後の取組

「朝食を毎日食べる」「健康には運動や睡眠が大切である」といった基本的生活習慣に対する正しい意識をきちんと身につけるよう、保護者への啓発も含め、継続して指導していく。

ふだんの生活について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

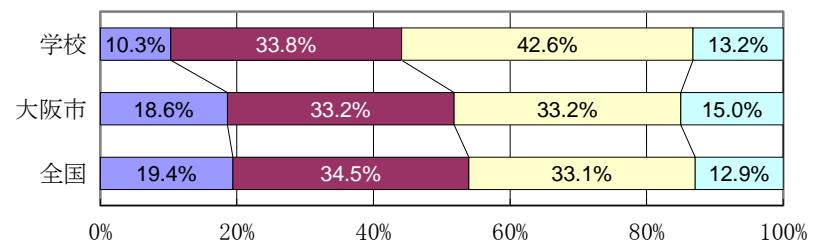
6

朝食は毎日食べますか
(学校が休みの日も含める)



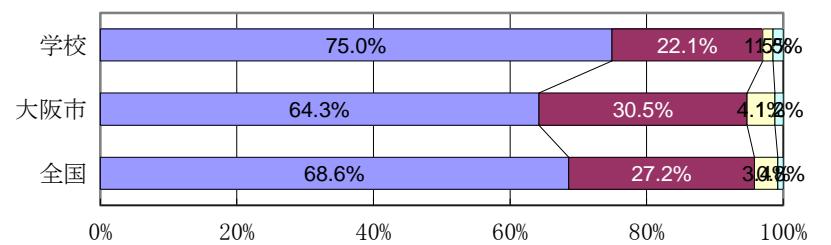
12

家人の人から運動やスポーツを積極的に行なうことを勧められることがありますか



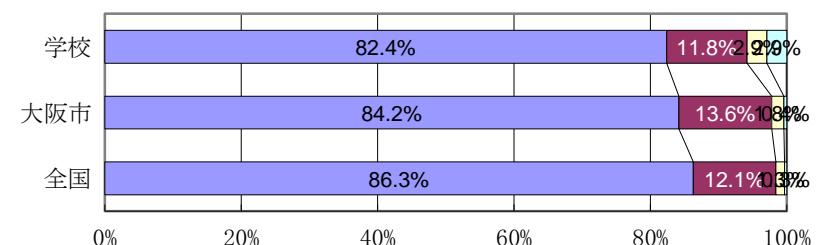
13

あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



15

あなたが健康でいるためによくねることはどのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

朝食を毎日食べると答えた生徒の割合が70.6%で、全国平均や大阪市平均を下回っている。健康でいるために運動は大切だと答えた生徒の割合が75.0%で、全国平均や大阪市平均を上回っている。家人の人から運動を勧められると答えた生徒の割合が10.3%と低く、家庭への啓発が課題である。

今後の取組

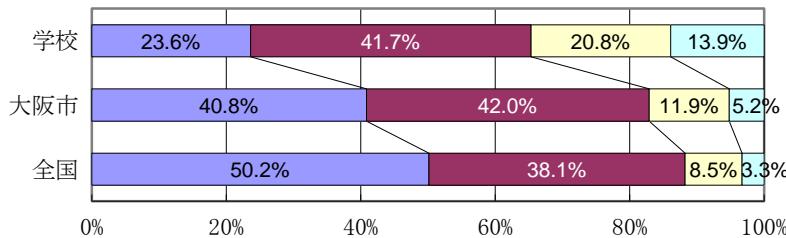
「朝食を毎日食べる」といった基本的生活習慣をきちんと身につけるよう、継続して指導していく。また、運動の大切さについて保護者への啓発を行っていく。

保健体育の授業について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

16

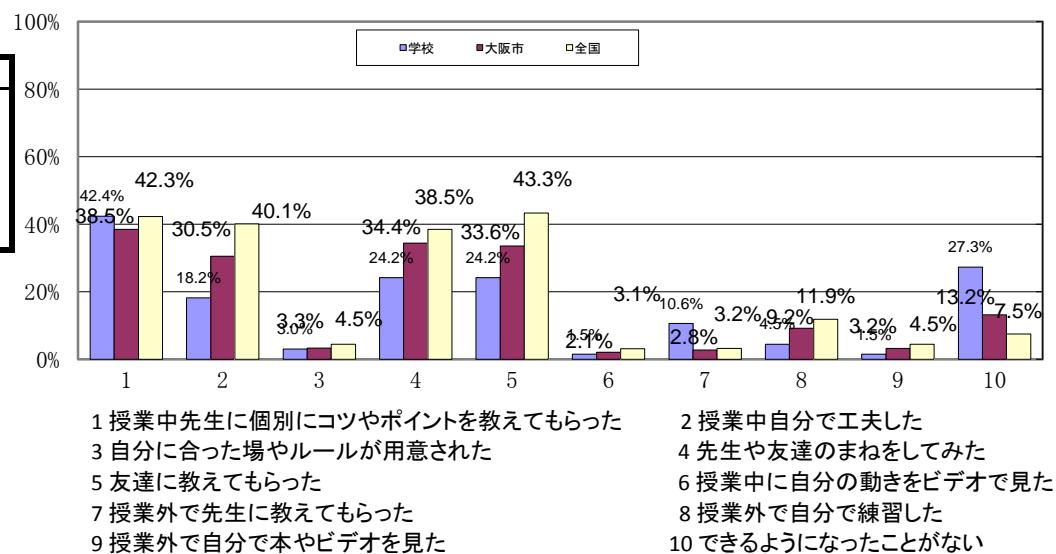
保健体育の授業は楽しいですか



- 楽しい
- やや楽しい
- あまり楽しい
- 楽しくない

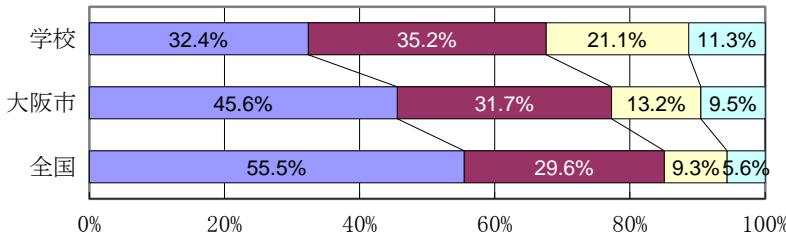
21

これまでの体育の授業で「できなかつたことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



17

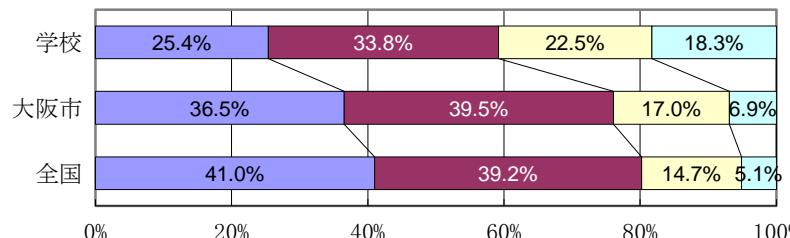
ふだんの保健体育の授業では、授業の始めに授業の目標(目当て・ねらい)が示されていますか。



- 示されている
- やや示されている
- あまり示されていない
- 示されていない

23

今、保健体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いませんか。



- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

成果と課題

保健体育の授業が楽しいと答えた生徒の割合が23.6%で、全国平均や大阪市平均を大きく下回っている。授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらって、できなかつたことができるようになったと答えた生徒の割合が42.4%で、全国平均や大阪市平均を上回った。

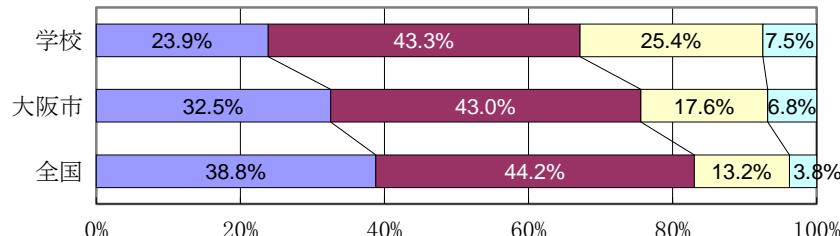
今後の取組

保健体育の授業の始めに授業の目標（目当て・ねらい）を生徒にきちんと示していき、より楽しくわかりやすい授業になるよう努める。

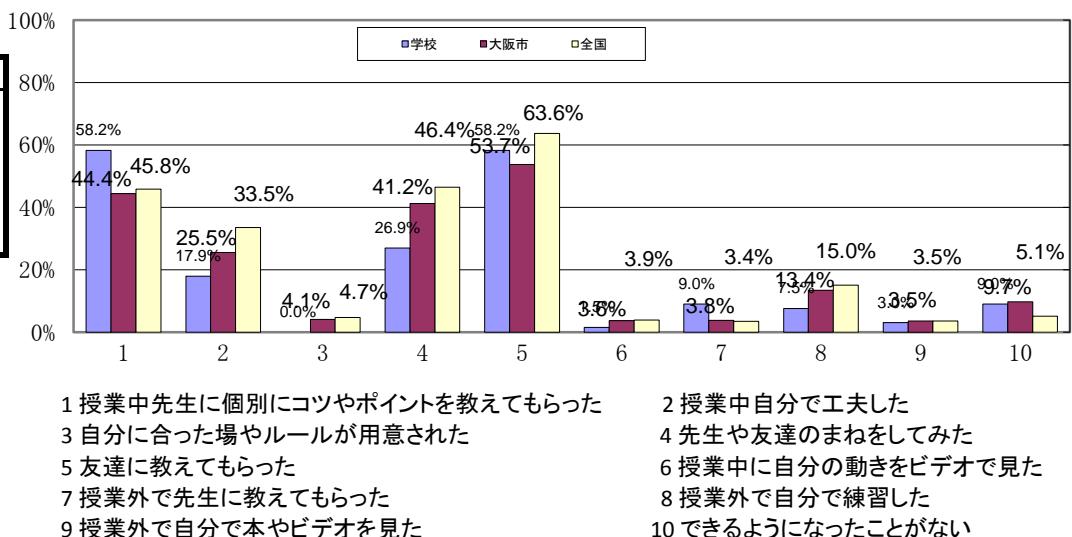
保健体育の授業について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

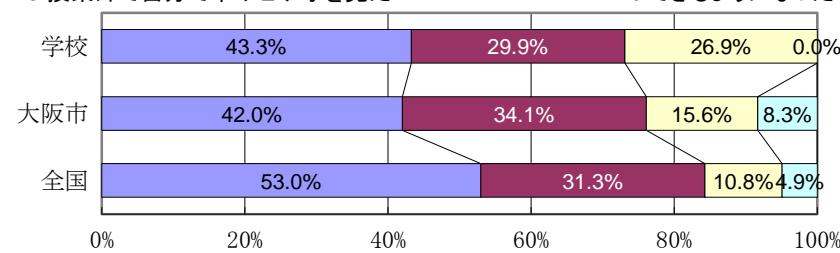
16
保健体育の授業は楽しいですか



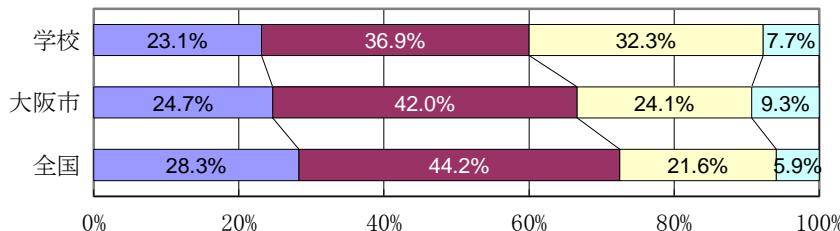
21
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



17
ふだんの保健体育の授業では、授業の始めに授業の目標（目当て・ねらい）が示されていますか



23
今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。



成果と課題

保健体育の授業が楽しいと答えた生徒の割合が23.9%で、全国平均や大阪市平均を大きく下回っている。授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらって、できなかったことができるようになったと答えた生徒の割合が58.2%で、全国平均や大阪市平均を上回った。

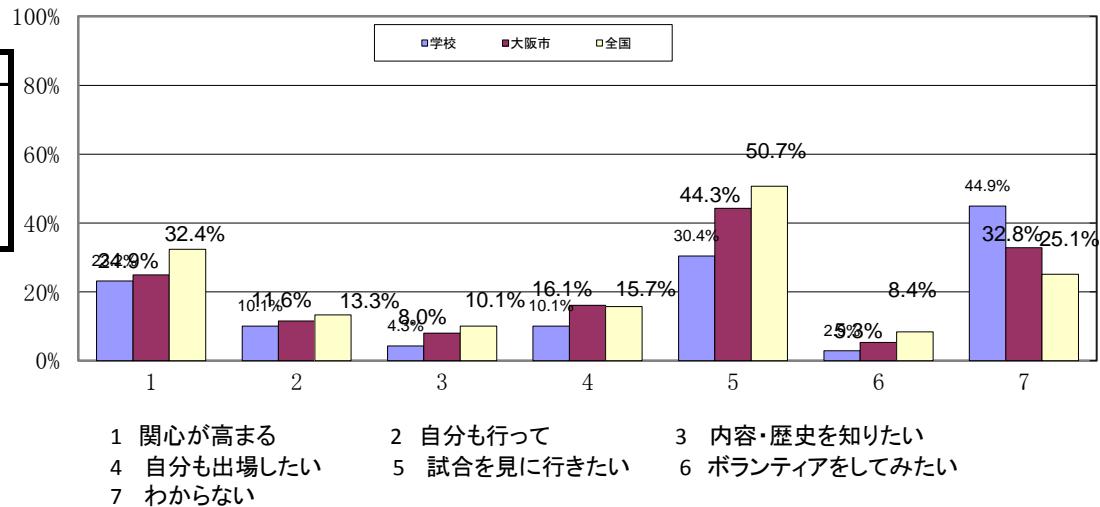
今後の取組

保健体育の授業の始めに授業の目標（目当て・ねらい）を生徒にきちんと示していき、より楽しくわかりやすい授業になるよう努める。

その他（男子）

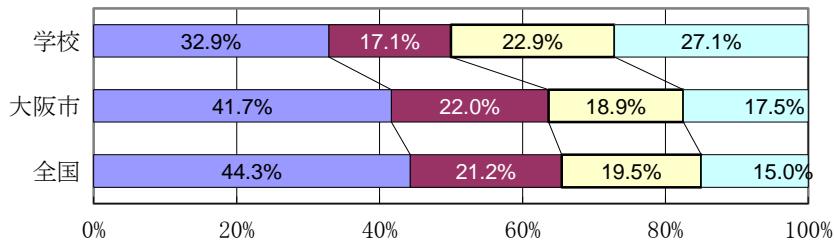
質問番号

質問事項



24

放課後や学校が休みの日に、ボールなどを使って投げる運動をすることがありますか。



成果と課題

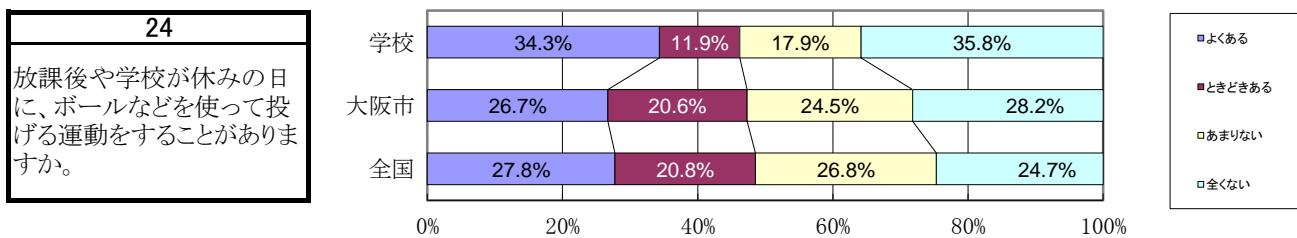
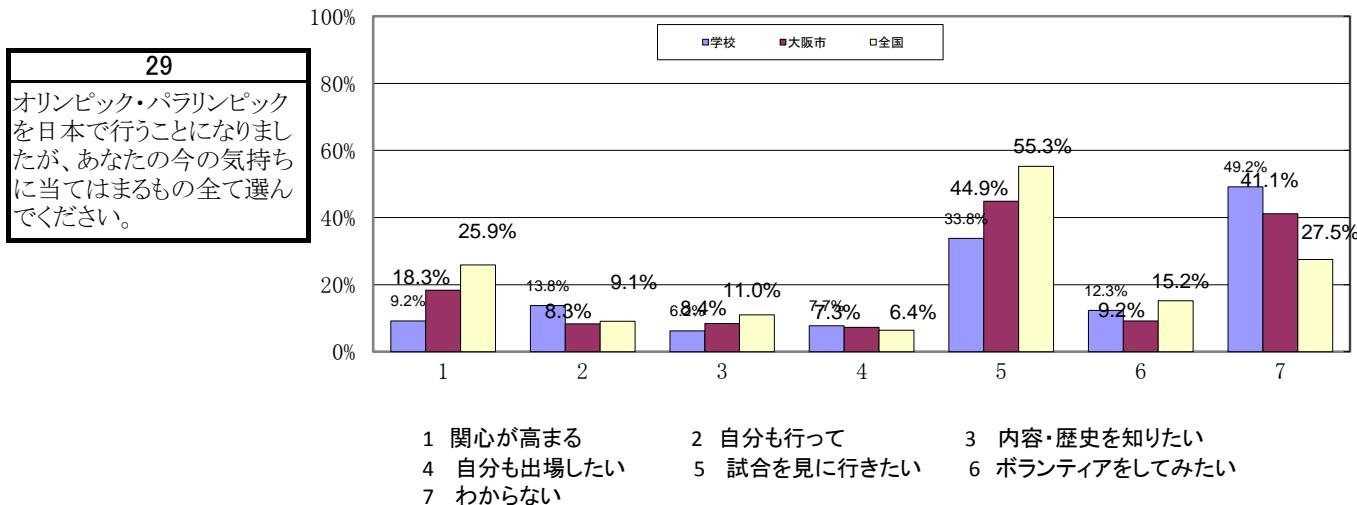
オリンピック・パラリンピックに対する気持ちについて、わからないと答えた生徒の割合が44.9%で、全国平均や大阪市平均を大きく上回っている。また、試合を見にいってみたいと答えた生徒の割合が30.4%で、全国平均や大阪市平均を大きく下回っている。

今後の取組

オリンピック・パラリンピックへの関心を高めるとともに、休みの日にも積極的に運動するよう指導していく。

その他（女子）

質問番号	質問事項
------	------



成果と課題

オリンピック・パラリンピックに対する気持ちについて、わからないと答えた生徒の割合が49.2%で、全国平均や大阪市平均を大きく上回っている。また、試合を見にいってみたいと答えた生徒の割合が33.8%で、全国平均や大阪市平均を大きく下回っている。

今後の取組

オリンピック・パラリンピックへの関心を高めるとともに、休みの日にも積極的に運動するよう指導していく。